

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和	年	月	日	() 時 分
死亡したとき	令和	年	月	日	時	分			
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他					
	死亡したところ								
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()							
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	脳くも膜下出血			発病（発症）又は受傷 から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位 で書いてください ただし、1日未満の 場合は、時、分等の単 位で書いてください (例：1年3か月、5時 間20分)	短時間		
		(イ)(ア)の原因							
		(ウ)(イ)の原因							
		(エ)(ウ)の原因							
	II	直接には死因に関係 しないがI欄の傷病 経過に影響を及ぼし た傷病名等							
手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日			
解剖	無	主要所見							
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死						
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死						
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生した とき	令和 年 月 日 時 分				傷害 が発生 した ところ	大阪府		
	傷害が発生した ところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他					
	手段及び状況								
生後1年未満で 病死した場合の 追 加 事 項	出生時体重	グラム		単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)		妊娠週数	満 週	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状				母の生年月日		前回までの妊娠の結果		
	1無 2有				3不詳		昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)	
その他特に付言すべきことがら トイレで倒れていたもの。救急搬送先病院で撮影されたCTにて、脳底部中心から拡がる高吸収影を認める。動脈瘤破裂に よると推定される。									
上記のとおり検案する					検案年月日	令和	年	月	日
					本検案書発行年月日	令和	年	月	日
医 師					印				

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日	
				（生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください）		
死亡したとき	令和 年 月 日	時 分				
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5) 施設 設 の 名 称	()				
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	脳くも膜下出血	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因	脳底動脈瘤破裂（推定）		同上	
		(ウ)(イ)の原因				
		(エ)(ウ)の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日	
	解剖	無	主要所見			
(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死				
死 因 の 種 類	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分	傷害が発生したところ	大阪府		
外 追 加 事 項	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他			
	◆伝聞又は推定も書いてください 手段及び状況					
生後1年未満で	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	妊娠週数	
病死した場合の追加事項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日		前回までの妊娠の結果	
	1無 2有	3不詳	昭和 年 月 日 平成	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら						
日頃、咳をしていた。急死の状況。爪チアノーゼ高度。救急搬送先病院にて血液検査を実施。リンパ球増加、好中球減少。高血糖 (506mg/dL)、D-dimer 91µg/mL トロポニンT、NT-proBNPは正常範囲。CT所見：脳底部を中心とし、小脳周囲、大脳間裂などを中心に拡がるくも膜下出血。						
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日			
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
医 師			印			